西中だより

令和５年７月号
ＮＯ１

大泉町立西中学校

「学校評価」に寄せられたご意見への回答

※個人が特定されてしまうようなご意見については回答を避けさせていただきます。

【ご意見】
喫煙や飲酒をしている子がいるとの噂があります。
先生は知っているけど、見たわけじゃないから対応しないのでは？と保護者の間で話題になっていました。
【回答】
学校では、定期的に生徒指導委員会や教育相談部会、学年会議などを開催し、各学年から生徒に関わる様々な情報･状況について共有しております。しかし、このような情報はこれまでに一件も挙がっておりませんでした。不確定な情報であっても、知り得た内容は共有し、確認しておりますので、教職員が見て見ぬふりをしていることは、決してありません。飲酒･喫煙が事実であれば大変残念な事です。
是非、学校への情報提供をお願いします。学校外の事ですが、事実であれば本人への指導は勿論、児童相談所を通じて家庭及び生徒への指導も依頼します。

【ご意見】
期末テストの時、給食を食べてから、帰宅させて頂けたらと思います。
中学生とはいえ、昼食を準備することは難しく、そのために仕事を休むことは難しい家庭が多いと思います。ご検討よろしくお願いします。
【回答】
ご期待に添えない回答になってしまいますが、大泉町では、保護者からお預かりした給食費で提供できる給食の回数は、次のように決まっております。
→小学校は、年間１８９回。　中学校は、年間１８３回（授業日の少ない3年生は171回）
これに対して、今年度の授業日数は、２０４日ですので、町内の小中学校では、この提供回数に応じて、学校のカリキュラムを組んでいます。そのため、今年度は２１日分（204日-183回）は給食を提供できません。この２１回分を設定することは容易でないため、どうしても定期テストの日の給食がカットとなります。ご理解ください。
また、すべての授業日に給食を提供するためには、必然的に値上げが必要になります。
現状の回数を維持するためにも、この７月から食材費が１０％値上がりとなりまが、町が負担するため金額は据え置きになります。

【ご意見】
カバンの荷物が多すぎて重たくて、自転車に乗っている子どもがフラついていて危ないと思います。
【回答】
大泉町では、数年前から小･中学生のカバンの荷物を少なくする取り組みを行っております。その日の家庭学習で使用しない教科書やノートは、持ち帰らないでよいことなっており(置き勉)、多くの生徒は「置き勉」をしております。児童･生徒の負担を減らし、登下校に安全を確保するための取り組みですので、今後も推奨してまいります。

【ご意見】
先生は忙しいと思いますが、子供にもう少し寄り添って欲しいです。登校拒否してる子が多すぎるのは問題ではないですか？
【回答】
全国的に不登校の児童生徒が増加傾向にあります。中学校では、約５％が何らかの理由で不登校となっております。本校も同様の割合であり、極端に多いということはありません。
しかし、登校する意思があっても登校につながらない生徒については、少しでも登校日数が増えるように、放課後や隙間時間などを利用して、電話連絡・家庭訪問、スクールカウンセラーとの打合せなどなど、保護者の方々には見えにくいことですが、担任教員も努力しております。
しかし、現実には昼休みを取ることも難しい日々の中で、業務に忙殺され、学級の生徒一人ひとりをきめ細かく見てあげる時間が限られていることは間違いありません。
「もう少し寄り添って欲しい」という声は、そうした状況を理解していただいた上での声であると思いますので、今以上に教員の業務改善、校務の効率化･精選・合理化をすすめ、教員の心のゆとりと生徒に寄り添う時間的なゆとりを生み出せるように努めます。

【ご意見】
なぜ西中は生徒手帳がないのですか？なくて困る時があります。学割が利用出来ません。
【回答】
電車通学の多い高校などは、定期券の購入に必要となる「証明書」(通学定期乗車券購入用)と生徒手帳が一冊になった「学生証」を発行しています。中学生の場合は、利用する機会がほとんどありませんので、費用対効果の面から作製しない学校が増えております。
しかし、鉄道乗車券を学割運賃で購入する場合は、学校が発行する「割引証」と「証明書」が必要となりますので申請をしていただいております。学校ホームページに「学割証発行願」がありますのでご記入・ご提出ください。
申請いただいた後に次の２点をお渡しいたしますのでご利用ください。
・「学校学生生徒旅客運賃割引証」※乗車券を購入する際に必要です。
・「証明書(一般用)」※電車に搭乗する際は、必ず必要です(携行します)。
学割乗車券の購入については、ＨＰで掲載している事などを年度当初にアナウンスすべきであったっと改めて認識いたしました。そのきっかけとなるご意見ありがとうございます。

【ご意見】
タブレットの使用について､全員一律でのタブレットの持ち帰りをやめさせて欲しいです。勉強と関係ない動画を見たり、音楽を聴いたり、チャットしたり、休みの日は部屋にこもって一日中使っています。躾の問題だと十分承知していますが、夏休みが大事な時期なので、お願いしたいと思います。持ち帰り禁止が難しいのであれば、家で使えるの時間をもっと厳しく規制をして欲しいです。このようなお願いをするのは、心苦しいのですが、ご検討頂きたいと思います。よろしくお願いいたします。
【回答】
切実なご意見であると感じます。国が進めているGIGAスクール構想に基づいてタブレットが貸与され、授業は勿論、連絡手段やアンケート、家庭学習などに利用しています。生徒の自学自習には欠かせないツールとして恩恵を受けていることは事実です。町では、多額の予算を投入し、全ての条件を整備し、家庭学習用にスタディーサプリなども無償提供しています。
こうした中で、持ち帰りの禁止や利用時間などの制限を設けるのは趣旨に反してしまうため難しいです。ですが、現実問題として、目的外使用は常に問題ですので、夜の１０時から朝６時まではネットに接続できないように設定されています。
今回いただいた貴重なご意見が無駄にならないよう､生徒への啓発を一層進めていきます。
また、「依存傾向にある生徒」への個別の指導も進めております。
何より生徒が「依存症」にならないよう、繰り返しご家庭でもご指導をお願いします。

【ご意見】
　アンケートの答えに関しては、父と母の意見は多少違いがありますが、保護者の意見を知るためには、とてもよいアンケートだと思います。ありがとうございます。
【回答】
　学校では、カリキュラムマネジメントを行っていく上で、保護者の意見を学校運営に反映していくことが求められています。この学校評価は、客観的に自校の教育活動を見直し、改善、充実を図っていく上で大切な役割をもっています。
　多くの保護者の皆様にご協力・ご回答をいただいておりますことに感謝いたします。
　有り難うございました。

【ご意見】
　クラスに長袖を着ている子がいるとエアコンをつけてもらえないと聞きました、暑さの感じ方は人それぞれなので、教室の気温や湿度でエアコンをつける基準を決めた方が良いのではないかと思います。
【回答】
　その日の室温が２８℃以上で、湿度が高い日であったにもかかわらず、授業の最後までエアコンを使用しなかったのであれば、それは対応の誤りです。そうであったのなら、校長として書面をお借りしてお詫びいたします。
　「学校だより」(６月２号)でお知らせをしたとおり、授業中の熱中症や体調不良を防ぐため、「室温を２８度以下に保つ」を基準として、エアコンの使用をしております。
　そして、この温度設定でも、少しでも涼しく感じられるように、気温に合った服装(半袖短パン)を奨励しています。教室の座席がエアコンの吹出口の真下に座る生徒は別として、あえて冬服のままで過ごそうとする生徒も多数いるのが現状です。６月末の蒸し暑い日、長袖のままで授業を受けている生徒数を調べた記憶があります。２年生はプールに入っていたため、１，３年生だけですが、５０人以上の生徒は冬服のままでした。体育館では冬服のまま運動をしている生徒もおりました。このときの体育館は３３度でした。強制的に脱がせることはせず、自主的な衣替えを呼びかけていますが、
長袖の青ジャージを着たままで授業を受けているのは１年生が最も多いです。
　その影響で、半袖短パンになることに抵抗を感じ、熱くても脱げない生徒がでてしまいます。当然、教室内で体調を崩す生徒も出てしまいます。ですので、気温に適した服装になれるよう、呼びかけている中での出来事であったと思います。ご理解いただけると有り難いです。

【ご意見】
　お世話になっております。初めは緊張の面持ちで、不安な様子が見られましたが、学校生活にも慣れ、自主的に学習も進められているようです。授業中の先生方の話が好きなようで、今後も興味関心を広げ、充実した学校生活を送れるように、家庭でも励ましていけたらと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。
【回答】
　毎日の学校生活を楽しく過ごせているというお知らせは、教員にとって何より一番うれしいことです。そうした生徒を１人でも多く増やすことが教員の努めであり、やりがいであると思っています。ありがとうございました。

【ご意見】
　いつも先生方には大変お世話になっております。
　勘違いであれば大変失礼な話になりますが、授業参観の時に、先生の１つ１つの話に被せて発言してしまう子がいて気になりました。（その理由は、身近に特性(ASD.ADHD)を持つ子がいるからです）。先生が一生懸命授業をしてくださって、真面目に聞いている子達がいたので、短期間でどうにか出来る事じゃないですが、みんなにとって良い方法があれば良いなと思いました。
【回答】
　学校には、たくさんの生徒がおりますので、個性も様々です。人前で話すのが大の苦手な生徒もいれば、今回のような、とても話し好きな生徒もいます。
　その発言が、クラスの笑いを誘ったり、教室の沈黙を破ってくれたり、教室の雰囲気を和ませてくれたりと、欠かすことのできない個性を持った生徒だと思います。しかし、その発言が授業を妨げるようであれば、教員が適切に指導を入れているはずです。また、教室内の生徒は不快に思っておらず、日常の様子として、ほとんど気にしてないと思います。
　もしも、生まれながらに何らかのハンディキャップがあり、ついつい先生の話に被せて発言してしまうとしても、そのクラスの生徒達は、その個性を受け入れ、不快感を示したりはしてないはずです。学校にもとめられている教育の一つに「インクルーシブ教育」があります。多様性を尊重し、ハンディのある生徒もない生徒も、個性を受け入れ、共に学び・運動し、心身共に成長する教育です。
　教員が、上手に舵取りをしながら授業を進めてくれていると思いますので、よろしくお願いします。

※紙面の都合上、回答は以上とさせていただきます。その他ご紹介すべき意見につきましては、次号に掲載します。

通知表の成績はどうやって決まるの？

　７／２０に渡される通知表の成績(評価)は、どのように出されるのでしょうか？
　今からちゃんと理解しておきましょう。
　Ｒ３年度までは、４つの観点で成績（評定「5.4.3.2.1」）が決まっていましたが、昨年度からは、「３つの観点」で成績（評定）が出されています。
　３つの観点は、「知識･技能」「思考･判断･表現」「主体的に学習に取り組む態度（主･体･態)」です。この３つのバランスによって「5,4,3,2,1」が決まります。

３つの観点の組合せ例 ・「知識･理解」(ABC) ・「思考･判断･表現」(ABC) ・「主･体･態」(ABC)	観点別学習状況の評価	評定(成績)
	A･A･A	5 or 4
	A･A･B　A･B･A　B･A･A	4
	A･B･B　B･A･B　B･B･B B･B･C　C･B･B　など	3
	B･C･C　C･B･C　など	2
	C･C･C	2 or 1

　生徒の皆さんが一喜一憂(いつきいちゆう)する通知表の成績ですが、「３つの観点」のバランスで決まります。
　例えば、テストで素晴らしい高得点を取っていても、進んで学ぼうとする意欲をもって学習に取り組むことができなければ、評定「５」はつきません。例えば、ノートやレポートの記述、授業中の発言、グループ活動の取り組み、提出物なども評価されます。
　ですので、通知表はバランスよく学習ができているかを見るためのものになります。